

5.1.6 人員配置

(1) 測定要員

2点以上測定する場合、機械等の稼働条件が一定で変化しない場合には移動しての測定が可能であるが、それ以外は同時測定を行うことが望ましい。多点同時測定を行う場合には、各々の測定点に一人ないしは二人ずつ測定員を配置するか、あるいは低周波音圧レベル計の出力を延長コードで延長して、一ヶ所に集結し、一人ないしは数人（測定するチャンネル数や使用する録音器の数により異なる）を配置する方法もある。多点同時測定で、測定器の数や人数が足りない場合には、発生源近傍に基準点を1点設定し、他の測定点は数点ずつ移動しながら測定する。基準点と移動点は同時に測定を行い、基準点の測定値を基にして他の測定点の値を相対的な関係から求める方法もある。その場合には基準点と移動点の分だけ測定員が必要になる。

(2) 発生源の状況を把握するための要員

発生源の状況を把握することが必要であれば、そのための人員が必要である。例えば、道路の交通量や車速、大型車通過時のアナウンス、列車接近のアナウンスや通過速度、形式、車両数等のチェック等には、1~3名程度の測定員が必要である。また可能であれば時刻合わせを行ったビデオカメラで撮影しておくことが望ましい。

(3) その他の要員

このほか、連絡のための要員や、測定全体を統括する要員、広い範囲での測定などでは、測定点を巡回して測定器のトラブルに対応する巡回要員が必要な場合がある。

人員配置の例を図-5.1.13 及び図-5.1.14 に示す。



図-5.1.13 苦情対応の場合の測定例

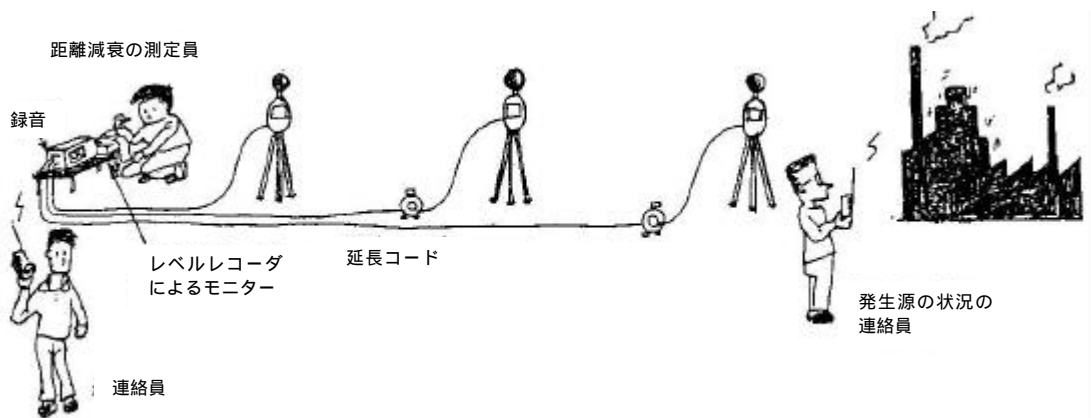


図-5.1.14 距離減衰測定の場合の例